



## はじめに WIN理事長, ゼナ・ホワイト

2022年12月、WINの理事会は、パンデミックのために停止していた対面の会合を2020年2月以来初めて開催しました。開催地はチリであったため、多くの人々にとって長旅となり、また多大な献身を要しましたが、大きな成果がありました。この3年間、組織の課題をリモートで舵取りしてきた理事たちは、独立系の音楽著作権所有者のためのより強力なグローバル・ネットワークを構築する活動を改めて活性化させようと、実に献身的に取り組みました。理事会は、サンティア

ゴにおいて地元の一括管理組織であるSCDと会合を持ち、公正な報酬に関する見解を共有し、権利所有者が抱える地元の課題について深く学びました。その後はさらに南下して、フルビアル会議と音楽祭が開催されるバルディビアに向かいました。バルディビアは、20世紀の巨大地震で破壊されましたが、その後も自然の際立った美しさの中で発展を遂げた都市です。このような場所でパンデミック後の未来について話し合うことには、感慨深いものがありました。

ゼネラルマネジャーとして卓越した指導力を発揮したノエミ・プラナスは、その功績を認められて2023年初めにCEOに昇格しました。同時に理事会の決定により、オーストラリア独立レコードレーベル協会（AIR）のマリア・アマトがこれまで務めていた理事長職を、私が引き継ぐことになりました。独立系音楽コミュニティをこのようにグローバルな立場で代表することは、私にとって大変名誉なことであり、残る任期中は行動計画を推進し、会員に対する価値提案を向上させるためにチームを支援していきたいと考えています。アマトは組織を強化する事務局を支援するうえですばらしい仕事をしました。今後は財務責任者として引き続き活躍が期待されています。心から感謝しています。また、WINの資金調達モデルを見直し刷新する間、WINに相当な時間を割いてくださった理事会メンバーの方々にも、感謝の意を表します。

私たちは2022年にラテンアメリカで大きな成功を収めた後、2023年にはインドとパラグアイの団体が加わり、新規会員の加盟が続いています。メキシコで新組織を設立する話し合いも続いており、3月にはメキシコシティでサミットを主催しました。来年の主な優先事項は、アジア、中東・北アフリカ地域、サハラ以南アフリカに特に重点を置き、会員ネットワークを拡大し続けることです。これらの地域から新たに加盟してもらうためのすばらしい提案がいくつかあり、来年実を結ぶものと期待されます。

来年のもうひとつの重点領域は、WINのメッセージを洗練させることです。このセクターへの異論がますます頻繁に向けられるようになる中、活動への支持を得るためには、私たちの目的を具体的かつ印象的に提示しなければなりません。WINの目的は、世界中の独立系音楽事業のために共に繁栄するエコシステムを発展させることであり、最終的にアーティストの経済的選択肢を増やし、ひいては芸術表現としての音楽の多様化と進歩を可能にすることです。これを実現するために、私たちは世界各地で新設および既存の業界団体を育成し、この業界に影響を及ぼす重要な問題について話し合い、会員たちがビジネス上のつながりを構築できる場を提供しています。

執行委員会やその他の特殊なワーキンググループに引き続き時間を割いている理事会メンバーの方々には、特別な敬意を表したいと思います。私たちのコミュニティは英米および欧州を基盤としてきたため、構造的な偏見が残っている可能性があります。これらをことごとく一掃し、すべての大陸から代表者を得て、同じにテーブルについてもらうよう努力していきます。私がメンバーを務めてきた4年間で、理事会はますます積極的になり、多様性を拡大する決意を固めてきました。これは世界中の独立系音楽著作権所有者にとって、よりよいネットワークとより公平な空間を構築するために欠かせません。

会員の皆様の献身と、WINのニーズの変化に対するご理解、そしてご参加に感謝申し上げます。当ネットワークは会員のための組織であり、会員の努力による成果を会員が受け取ります。これについては、本レポートが新しいWINHUBプロジェクトによる最新の進捗状況を報告しています。WINHUBは、実際のビジネスチャンスをもたらすことを目的として会員同士が新たな関係を築くためのスペースです。

最後に、この重要なネットワークを構築し成長させるために、ノエミ・プラナスとネレア・セラーノが現在2人のチームでたゆまぬ努力を続けていることに感謝し、その功績を称えたいと思います。来年も素晴らしい年となりますように。

## エグゼクティブ・サマリー ノエミ・プラナス, WIN CEO

Lワールドワイド・インディペンデント・ネットワーク (WIN) は、独立系音楽セクターのための世界的な調整機関および支援機関として、その長期的な発展と持続可能性を促進しています。WINの主なミッションは、独立系音楽業界団体の支援と促進、業界団体間のコミュニケーションと協力の促進、そして音楽の価値の擁護と業界基準の改善です。世界40カ国に散らばる36の業界団体で構成されるこの組織は、8,000を超える独立系音楽会社を代表しています。

WINは音楽産業における新興市場の発展と強化に力を尽くしています。LatAmネットワークやAPACアライアンスなどの地域ネットワークの設立を促し、協力を奨励し、能力を構築し、独立系音楽の価値を高めています。また、既存団体の少ない地域で新しい業界団体の設立を支援するために、「業界団体設立のロードマップ」のようなリソースも提供しています。

WINは、独立系音楽コミュニティ内でのコラボレーションとネットワーキングの育成に重点を置いています。WINHUB国際ネットワーキング・プロジェクトでは、オンラインおよび対面でのイベントを通じて世界中の独立系コミュニティを結びつけ、ビジネスチャンスと輸出能力を育成することを目指しています。加えて、国際的な音楽会議に出席し、業界の専門家がネットワークを構築して意見交換するためのプラットフォームを提供しています。

さらにWINは、生成AIが音楽制作に及ぼす影響や、巡回公演を行う音楽家が直面する障壁（特にブレグジット、COVID-19、



インフレ、独占に起因するもの) など、音楽業界が直面するグローバルな課題に取り組んでいます。独立系アーティストや会場を支援する政策を提唱し、公正で繁栄する独立系エコシステムの確保を目指しています。

WINの活動の中核は、能力の構築とリソースの提供です。国際的な演奏権管理や公共政策、貿易協定など、さまざまな業界問題に関するワーキンググループを組織しています。また、ニュースレターやイベントの割引、業界関連の最新情報など、会員にリソースや特典を提供しています。WINが出版するISRC FactsheetやGlobal Vinyl Directoryなどは、音楽関係者に貴重な知見を提供しています。

WINは強力な触媒の役割を果たし、志を同じくする世界中の個人、企業、団体を共通のビジョンのもとに団結させます。すべての独立系音楽家および音楽関係者に平等なアクセスと機会を提供する、多様で活気に満ちた音楽エコシステムを創出するために、業界が抱える課題に取り組んでいます。技術革新が新たな段階を迎えようとしている現在、私たちが目指すのは、連帯と協力によって傑出した成果への道を拓き、誰もが繁栄できる世界を形作る未来です。